

(日本薬局方 ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩徐放カプセル)

H₂ブロッカー胃腸薬**アルタット[®]A**

- ・3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談すること。
- ・1週間を超えて続けて服用しないこと*。
- *重篤な消化器疾患を見逃すおそれがあるので、医師の診療を受けること。

特徴

アルタットAは、胃酸の分泌をおさえ、胃粘膜の修復を早めるロキサチジン酢酸エステル塩酸塩を含んだ胃腸薬です。1日1回1カプセルの服用により、胃酸による胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状を改善させるすぐれた効果をもったお薬です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩等のH₂ブロッカー薬によりアレルギー症状〔例えば発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ〕を起こしたことがある人
(再び同じ薬を服用することによって、さらに強い症状を起こす可能性がある。)
- (2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人
 - ① 血液の病気、② 腎臓・肝臓の病気、③ 胃・十二指腸の病気、④ 喘息・リウマチ等の免疫系の病気、⑤ ステロイド剤、⑥ 抗生物質、⑦ 抗がん剤
 - ◇ 上記①～④の病気で医師の治療を受けている人や、上記⑤～⑦の薬剤を服用している人が本剤を服用すると、白血球減少、血小板減少等を起こすことがある。
 - ◇ 腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて血中濃度が高くなり、作用が強くあらわれることがある。
 - ◇ 胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩や類似の薬が処方されている可能性が高いので、重複服用に気をつける必要がある。)
 - ⑧ アゾール系抗真菌剤
(アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して、効果を減弱することがある。)
- (3) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ないなどの血液異常を指摘されたことがある人
(本剤を服用するとさらに血球数等が減少する場合がある。)
- (4) 小児(15歳未満)及び高齢者(80歳以上)
(小児に対しては使用経験が少なく、安全性が十分確認されていない。80歳以上の高齢者では腎機能が低下していることが多く、排泄が遅れるため作用が強くあらわれることがある。)
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる女性ならびに授乳婦
(妊娠中の服用については、安全性が十分確認されていない。また、ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩は母乳中に移行するので、授乳中の女性が服用すると乳児に影響を与えることがある。)

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと

他の胃腸薬

(他の胃腸薬を同時に服用すると、作用が強くあらわれて予期せぬ副作用が起こるおそれがある。)

🗨️ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人又は他の医薬品を服用している人
(他の医薬品と同時に服用すると、薬物相互作用により副作用を起こしたり、医薬品の期待される効果が得られないことがある。)
- (2) 本人又は家族がアレルギー体質の人
- (3) 薬によるアレルギー症状を起こしたことがある人
(薬物アレルギーの既往のある人は、本剤に限らず十分な注意が必要である。)
- (4) 高齢者(65歳以上)
(80歳に満たない高齢者についても、一般に生理機能が低下していることがある。)
- (5) 次の症状のある人
のどの痛み、咳及び高熱
(これらの症状がある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがある。服用前にこのような症状があると、本剤の服用によって症状が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがある。)
原因不明の体重減少、持続性の腹痛
(他の病気が原因であることがある。)

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
精神神経系	頭痛、手足のしびれ・こわばり感、ねむけ、めまい、混乱感
循環器	動悸
腎 臓	全身のむくみ・血尿、赤褐色の尿
その他	筋肉痛、関節痛、気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。

(2)誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

- 3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
便秘、下痢、口のかわき

効能・効果

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

(本剤は、胃のヒスタミンH₂受容体に拮抗する薬を含んでいる。)

<効能・効果に関連する注意>

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないこと。

用法・用量

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれたとき、成人(15歳以上、80歳未満)の方は、次のとおり水又はお湯で服用すること。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上、80歳未満)	1カプセル	1回
小児(15歳未満)	服用しないこと	
高齢者(80歳以上)		

- ・1回1カプセル、1日1回を限度として服用すること。
- ・症状が治まった場合は、服用を止めること。
- ・3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談すること。
- ・1週間を超えて続けて服用しないこと。

<用法・用量に関連する注意>

- 1.用法・用量を厳守すること。
- 2.本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えること。
- 3.カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる。)



成分・分量(1カプセル中)

成 分	分 量	働 き
ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	75mg	胃酸の出過ぎをおさえる

添加物として、精製白糖、トウモロコシデンプン、酸化チタン、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、青色1号、赤色3号、効果を持続させるために顆粒を特殊コーティングする3成分を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)PTPシートを外箱に入れ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)使用期限(外箱に記載)をすぎた製品は服用しないこと。

本製品に関するお問い合わせは
興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センターへお願いします。
〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14
TEL 03-3279-7755 FAX 03-3279-7566
電話受付時間:月～金(祝日を除く)9:00～17:00



発売元 興和株式会社 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

製造販売元 あすか製薬株式会社 東京都港区芝浦二丁目5番1号